

FP Topics

2018年9月号

= 人生100年時代を考える =

★大きくシフトするライフプラン

人生80年といわれた時代から《人生100年時代》
⇒100年生きる時代になるようです。

人生80年時代のライフプランでは、**教育⇒仕事⇒
⇒老後**というような画一的なライフステージで、何と
か老後まで過ごす事ができる時代でした。

60代半ば以上、いわゆる団塊世代以上の方々が
辿られている人生ではないでしょうか。

人生100年時代を想定すると、この典型的な3ステ
ージのライフプランでは生き抜いていけないよう
です。社会要請として新たなライフプランの設計が
急務となっています。

2017年9月には、安部総理大臣を議長に「人生100
年時代構想会議」が立ち上げられています。

例えば、下記のライフステージの様に、自由な発想
でライフデザインする時代と考えます。

★世代別のリスク

①65歳半ば以降の世代

高金利時代の貯蓄や退職金・企業年金などで老
後資金を築いてきた世代。想定以上の長生きや
社会保障制度の機能不全によるリスクが存在する。

②40代・50代の世代

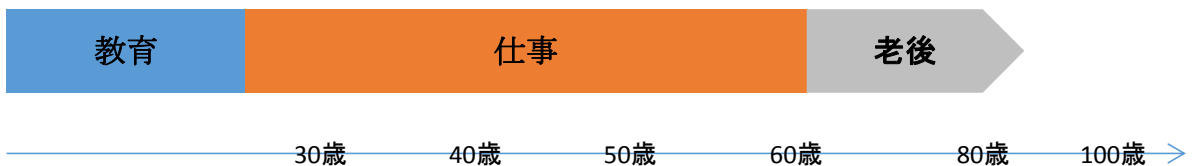
前出の3ステージモデルが急速に軋みだした世
代。現況の制度でリタイアすると、公的年金等だ
けでは長い老後を補えず、長く働く環境を見出さ
なければならないでしょう。

③30代以下の世代

この世代では3ステージモデルは全く通用しない
と言っても過言ではないと思います。

現在では、終身雇用という制度は幻想と化してい
る状況であり、21世紀は“個”の時代とも言われて
います。働く期間を長くして、老後を短くする必要
性が高まるでしょう。

【人生80年時代ライフステージ】



【人生100年時代ライフステージ】



★100年を生き抜くライフデザイン

人生80年時代では3ステージモデルの画一的な
ライフプランで事足りていましたが、人生100年時
代を想定すると、一例ですが上記ライフステー
ジのように多彩かつ柔軟なライフプランが必要にな
るかと考えます。終身雇用制度の終焉・社会保
障制度の機能不全などを踏まえると自分と自身の家
族は自分自身で守らなければいけない時代が到

来するようです。自身のキャリアをよりステップアップさせ
る学びや、起業するための準備など、従前のライフ
ステージにはなかった学びの時間も必要になるでしょう。
昨今では副業を認める企業もみられるようになりました。
人生100年時代を早めに認識し、自身のライフデザ
インを再考した上で、綿密なライフプランをキャッシュフロー
表などに落とし込み、実現可能なライフステージのあり方
を考えてみられてはいかがでしょうか？

人生100年時代“住宅”の考え方

住宅購入等に係るご相談や講演では、購入と賃貸の比較として、必ず双方のメリット・デメリットをお話するようにしています。最終的には、持家に対する価値観が最後の判断基準となっているようです。私たち日本人(男子)は、どうも新築一戸建ての夢がインプットされているようです。最近では、沢山の情報がウェブ等でも確認できることから、購入or賃貸を冷静に考える方も増えてきているように思います。住宅購入を選択すると、一般的には大きな負債(住宅ローン)を抱えることになり、資金が固定化されるという点が大きな問題点だと考えます。住宅資金は人生の3大資金の一角を担います。老後の住まい方をしっかり念頭にいれ、出口戦略をしっかりと考えていかなければならないと思います。このテーマは、たいへん多様性に富んでいますので次回以降で特集してみたいと考えています。

= 人生100年時代における所感 =

人生100年時代を想定した場合、それぞれのライフスタイルにより相違はあると思いますが、これまでの画一的な3ステージのライフプランでは100年生き抜くことは困難になるかもしれません。皆さんもお気づきかと思われませんが、時代変化のスピードは10年前のそれとは、比べ物にならないくらいに早くなっています。私自身5年後の未来はまったく予測が付きません。すごいスピードで世の中の価値観が変化してゆきます。東京オリンピック前後に世の景気がどう動くのかも、しっかりと予測できてはいない状況のようです。来年予定されている、消費税の増税(軽減税率の導入)もまだ確定しているわけではないようです。ですが、そんな不確定要素満載の未来に対応できる備えを考えるとときがきているのではないのでしょうか。これまでの日本人には、あまりなじみのなかった、多様かつ柔軟な考えかたで、ライフステージを考える良い機会が到来していると思います。まわりを意識しながら、もう何歳だからこうしていなければならない的な発想はもう卒業すべきで、多様かつ柔軟なライフステージを構築し、生涯現役くらいの意気込みで、人生100年時代に挑んでいきたいものです。それには健康寿命が重要ですね！健康で長生きできるよう気を付けたいものです。歩くことは健康にも認知症予防にも大変良いようです。人生100年時代、山歩きはお勧めです。是非！！

人生100年時代の貯蓄・資産運用

生きて生活していく時間が長くなれば、生活する為の資金もそれだけ多く必要になります。現在、国民の平均年収は400万円前後のようです。しかも、所得の格差はどんどん広がっている感があります。100年を生き抜くためには、今までのようになんとかなるだろうでは、難しくなっていると考えます。一発逆転もあり得るかもしれませんが、その確率は・・・です。まずは、しっかりと長期に涉って計画を立てることが重要だと考えています。しつこいようですが、【長期・積立・分散】投資という手法に基づいて、しっかりと資金を積み立てることが重要になってきます。仕事に就いてからリタイアまでの時間は、人それぞれですが、人生100年時代を想定すると50年はあると思われます。その時間を利用して効率的に運用することが重要です。このテーマについても、次回以降で特集したいと思います。

～今月の山便り～

今月の写真は大峰奥駈道、深仙宿の南東に鎮座する“大日岳”です。古来からの行場であり、かの西行法師も登攀したであろう岩壁です。核心部には鎖がありますが、逆層スラブの一枚岩で確保なしで登攀するのはかなりの勇気が必要です。先月お盆の時期に赤井谷から深仙宿へとつなぎ、この大日岳を登攀してきました。もちろんロープでしっかり確保して登りました。全く確保なしのフリーで登攀する登山者も数名いらっしゃいましたが、恐ろしく見ていて肝を冷やしました・・・大日岳頂上には大日如来像が鎮座されており、しっかりとお参りさせていただきました。眺望もすばらしく深仙宿や五百羅漢が一望です。

